

第6回飲料用ペットボトルのキャップ 回収のご報告

いつもお世話になっております。
昨年も皆様のおかげでたくさんエコキャップを回収
出来ました。
ご協力頂いたお客様、以下五十音順となります。

アトリエフラン様
大村庵様
カラオケ満遊来大井町店様
吉鳥(茅ヶ崎)様
クールビーズ様
サラダニース六丁目店様
ジャムダイニング明治通り店様
城後様
シンコムパートナーズ様
中華清水様
箱根桜庵様(閉店)
一口茶屋中野新井店様
ペッシェグロツソ様
ベルモント様

収集活動へのご理解、ご協力をいただきまして、
誠にありがとうございました。
つきましては、第6回の収集実績を下記の通り
ご報告申し上げます。

2011年 総収集量
約164800個(412kg)

(2010年 総収集量 168000個(420kg))
※1kgは400個として計算しております。

おかげ様で第6回は206人分の子供達のポリオ
ワクチンが購入出来ます。誠にありがとうございます。
2012年も子供達のためにより一層の収集に努めて
まいりますので、今後ともご協力をよろしく
お願い申し上げます。

株式会社FCC
エコ委員会一同

お取引様各位

お客様アンケートご報告

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び
申し上げます。

毎々格別のお引き立てを賜り、ありがたく
厚くお礼申し上げます。
さて、このたびは、ご多忙の中、弊社業務に
関するアンケート調査にお応えいただき、
誠にありがとうございました。

おかげさまで、貴重なご意見を多数頂戴
することができました。今後は、これらの
ご意見を参考に、よりきめ細かで、
お客様のご期待にそえる衛生管理を始め、
営業・サービス体制を確立してまいりたいと
存じます。

また、2月よりアンケート調査を毎月行う
形を予定しております。
それに伴い、問い合わせ専用フリーダイヤルを
下記の通り設置致しました。

お客様アンケート
お問い合わせ専用FAXフリーダイヤル
見ないムシ

0120-32-3164

※一都八県以外のご利用出来ません。
(東京・神奈川・千葉・埼玉・栃木・茨城・群馬・山梨・静岡)

これを機に更なるサービス向上に
励む所存でございます。

どうぞこれからも、忌憚のないご指導ご
鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。
まずは略儀ながら書中にてご通知まで。

敬具

FCC News
2012年2月号 No.0094



Index

FCC新HP紹介&施工員ブログ

季節のムシ暦(51)

生活の豆知識&商品紹介

各ご報告

株式会社FCC



〒251-0043
神奈川県藤沢市辻堂元町4-3-32
Tel 0466-31-3164
Fax 0466-31-3174
URL <http://www.fccsystem.co.jp>
E-mail info@fccsystem.co.jp

新ホームページ開設!

株式会社FCCも2012年2月で第15期を迎えます。これも皆様のご愛顧のおかげです。ありがとうございます。

そこで、弊社の新しい専門サイトを開設しました!

今までのホームページよりお客様に分かりやすく、またお役に立てるようにと害虫駆除、衛生用品それぞれの分野に特化したホームページです。

ここで簡単ながら少しご紹介させていただきます。

害虫・害獣駆除専門サイト

「害虫駆除.COM」

こちらは各害虫・害獣の生態から豆知識、そして弊社での画期的な駆除方法に実際の導入例やお客様の声と様々な角度から害虫・害獣駆除に関する事を書いております

またお客様から多いご質問や、実際に施工員が現場で行なった施工の様子なども掲載しておりますので、お客様の日々の衛生環境作りのヒントにいただければ幸いです。

記事はリアルタイムにどんどん更新していきますので、ぜひチェックしてみてください!

衛生用品専門サイト

「衛生用品.com」

弊社で扱っている衛生用品の紹介・販売の専門サイトになります。日々の中でよく使われる洗剤や除菌剤なども大きな容量で販売しています。

なかでもFCCオリジナルエコ商品は効果が高だけでなく、地球環境にも優しい商品になっておりますので、オススメです。

品揃えも随時更新して増えておりますので、ぜひご確認下さい!



FCC施工員ブログより

この時期は、熱源です。

最近、めっきり寒さが辛くなってきましたね。本格的な冬の到来ですね。地上生物にとって、冬の寒さを凌ぐことは、最大のポイントとなってきます。それは、ゴキブリに関しても、例外ではありません。

この時期、発生のある店舗は、必ずと言っていいほど、モーターなどの熱源に生息していることが多く、頻繁に見かけることがあります。この一枚の映像も、厨房内にあるディッシュウォーマーのスイッチです。



このスイッチは、プラスチックのカバーがされており、機械自体が暖かいのと共に配線熱によっても、スイッチ自体が暖かくなっているため、集合体を作り生息していきようになります。この寒い時期は、特にポイントです。暖かい場所を好み固まって生息しているため、見つけやすく駆除もしやすくなります。このスイッチの例は、意外に珍しいケースですが、冷蔵庫のモーターなどは、一番見つけやすいのではないのでしょうか!

もし、固まっている状態を見つけたら、是非一度FCCに、ご相談下さい。お待ちしております。

【3.11事故地で多発したハエ類】

旧年、世界を驚かせた天災“東北大地震・津波”災害は、私達に様々な教訓と課題を与えた。

この大津波は、有史以来、日本列島を何度も侵襲したと云うが、体験したのは、この度が初めてである。

私は、平成23年4月7日に地元の有識者の勧めにより、この地を訪れた。この状況は、テレビで放映する画像を見て、ただ「呆然」とし、被災者の困苦に想いを馳せていた自分自身が、まさか、現地に足を踏み入れるなど夢にも思っていなかった。

それも、衛生学の専門家と称しているならば、何をあいても、先ず、現地に立つべきではないのか、の地元の有識者の言葉に背を押されて実行した。

現地は、峠を越えて在るべきはずの町を探したが、町は姿を消し、眼に入ったのは、はるか先に陽光に光る海面のみであった。さらに、隆起・陥没した道路を押し進めると市街地と目される場所には、破壊された車輛、倒壊家屋の上に乗上げた漁船などの壁に阻まれた。

他に道を求めると、“瓦礫”の山に乗り上げると云う様で、周囲に生物の姿を見ない状況だ。人の居ない所に衛生学は無いだらうと云うのが、被災一ヶ月後の状況であった。

自然の摂理とは、凄いもので六月ともなると、状況は一変して、JAの倉庫から流失した“玄米”から「ハエ」が大量発生した。

漁港の周辺では、「冷凍倉」から流失し魚や魚類を材料とす「魚粉肥料」が、広域に流失し、ハエの発生源となった。

人の生活しない場所の「ハエ」は、それ程問題にならないが、被災者の「避難所」周辺では、問題虫なのである。

問題になった「ハエ」は、地域の特性によるものか、クロバエの仲間のクロキンバエ、ヒロズキンバエが優占種で、ついでイエバエ、ツマグロイソハナバエやフンコバエであった。

この「ハエ」問題は、生態的にみて5月頃までは起こらないが、5月上旬頃から顕在化するだろう。

今年は、復興も始り「ハエ」と「人」の距離が近くなるので、発生量の多少にかかわらず、「ハエ退治」の生活に戻ると考えられる。

無駄なく、ハエに立ち向かうために、その姿を再確認しておこう。

クロキンバエ:

今年大発生したのは、クロキンバエであって、体長が10ミリ前後の比較的大きいハエである。

比較的湿度の低い地域のハエで、最初は北海道で記録されたが、その後、青森を始め東北の各県に、さらに新潟、石川、長野そして東京へと分布を広げた。

幼虫の発生場所は、動物の死体で厨芥等からも発生する。

卵から成虫になる期間は、湿度によって若干、異なる。

例えば、20℃では約26日、25℃では15日間、30℃では12日間である。

なお、幼虫の発育零点は、9.5℃とされている。

ヒロズキンバエ:

クロキンバエに次いで多かったのはヒロズキンバエで、体長が約10ミリ前後である。

これは、日本各地でみられて中型の体色が金緑色で目立つハエである。

活動時期は、5月から9月でその活躍最盛期が、7月頃である。

幼虫の発生源は、動物の死体で、今回の冷凍庫の魚などは格好であった。

この両種のハエの幼虫は、動物の死体を摂食し、分解を早めるので、自然の掃除役である。出来れば、幼虫を殺さずに、成虫だけを退治する方法が、欲しい所である。

その他の「ハエ」では、小型種の「フンコバエ」が多発した。このハエは、昔はハヤトビバエと称されたハエである。

幼虫は、食腐性で、今回のような場所に多発し易い。成虫は、排泄物や腐敗した動植物に集る。

成虫は、直射日光をさける習性があるため、前夜半に活動する。

なお、活動ピークは、6月から7月である。

今年は問題にならなかったが、今夏は、住宅事情が、異なるので話題になる可能性が高い。

防除対策の今夏の課題は、「瓦礫」の山への殺虫剤散布に依存しない方法の構築である。

被災地の「ハエ対策」は、敗戦後に戻ったのだ。



【写真説明】東北震災の多発生ハエの「クロキンバエ」大型であるがゆえに目立った。

生活の豆知識

～冬は意外と臭う!?～

2012年も早くも2月になりましたが、まだまだ寒い日が続いています。冬は空気も大変乾燥しており、臭いに関して他の季節より過敏に感じやすくなります。

冬は普段汗をかかない分、汗腺に多くの老廃物が溜まり汗の臭いがきつくなりがちです。さらに冬でも室内は暖かい為、**靴箱、カーペット、トイレ等**の臭いは拡散も速く臭いがきつく感じます。

今回はそういった冬場だからこそ気をつけたい臭いのきつくなりそうな場所への対策を考えていきます。

まず臭い対策で重要なのは**空気の循環**です。密閉され湿度の高い状態だと臭いの原因の菌は増える一方です。環境的に密閉させない、また定期的な換気をする事で臭いはかなり軽減されます。

■靴箱の臭い

靴の臭いは、バクテリアがタンパク質や脂肪分を分解する際に発生する臭い(菌臭)になります。靴の中は菌が繁殖しやすい湿度・温度・栄養の3条件が揃いやすいので、ひとつ臭い靴があると他の靴にも移ってしまう可能性があります。対策としては湿度を抑える為、**靴の定期的な換気作業(靴箱の外に出す等)、新聞紙を敷いて靴の水分を取り除く事**が有効です。また10円玉を靴に入れると、銅イオンによる抗菌性が臭いを抑えてくれる効果があります。さらに1円玉と一緒に入れると、硬貨同士が通電し銀イオンの働きを活発化します。手軽に出来る対策なのでぜひお試しください。

■カーペットの臭い
カーペットは、繊維の奥にまで臭いが入り込んでる事が多いので、少々の消臭スプレー等では十分な効果を期待するのは難しいです。まめに洗濯も難しいと思いますので、こまめに掃除機などで埃を除去し、日干しや部屋ごと換気するなどして菌の繁殖を抑えるといいでしょう。また暖かくなりカーペットをしまう際は必ずクリーニングして菌を除去してからしましましょう。

■トイレの臭い
尿は120度の角度まで飛び散るので便器自体より壁に臭いがついてしまう事が多いです。尿の臭いはアルカリ性のため、酸性のもの(お酢やクエン酸)で拭くと消臭効果抜群です。便器自体の清掃とともに壁や床も清掃しましょう。

以上何箇所か対策を挙げましたが、生活している身の回りには臭いがつきやすい場所は様々にあります。臭いの種類や原因によって対処は変わってきますが、基本的には菌を繁殖させない為に湿っぽい状況をつくらない事が大切です。

ぜひご参考くださいませ。



FCCオリジナル商品紹介

FCCデオドラントGEL



1個: ¥2,100(税込)

使用期間: 通常20日前後

このFCCデオドラントGELは成分が蒸散して空間の隅々まで広がり消臭するFCCオリジナル商品です。

このFCCデオドラントGELは成分が蒸散して空間の隅々まで広がり消臭するFCCオリジナル商品です。

主成分の二酸化塩素は水道水の上水処理で使用が認められているので、人体への影響度極めて低く、安心してお使い頂けます。

染み付いてしまっても臭いなどでお困りの方はぜひお試しください。

蒸散する量も微調整できる為、臭いの度合いや場所にあわせて使用が出来ます。